

令和3年度

学生募集要項

大学院複合芸術研究科

博士課程

新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、試験内容を変更して実施する場合があります。
本学のウェブサイトで定期的に最新の情報を確認してください。

秋田公立美術大学

AKITA UNIVERSITY OF ART

秋田公立美術大学複合芸術研究科複合芸術専攻（博士課程）学生募集日程

| | |
|--------|---|
| 試験区分 | 一般選抜 |
| 募集人員 | 2名 |
| 出願期間 | 2020年10月7日（水）～10月13日（火） |
| 一次選考 | 書類審査 一次選考（書類審査）において二次選考へ進むことを認めた者には二次選考受験票を送付する。 |
| 二次選考 | 2020年11月7日（土） 10:00～12:00 論述試験 13:00～18:00 面接（口頭試問含む） |
| 合格発表 | 2020年11月17日（火） |
| 入学手続期間 | 2020年11月24日（火）～11月27日（金） |

秋田公立美術大学複合芸術研究科複合芸術専攻（博士課程）

○大学院概要

■教育目的及び入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本課程は、現代芸術を「複合の視点」から理論化を試みる研究を行うことで、現代芸術領域及び社会に新鮮な視点や思考の転換を発信し、新たな道筋を示しながら現代芸術領域の拡張と持続可能な社会の構築に広く貢献する表現者、リーダー及び研究者を育成することを教育目的とする。

この目的を達成するために本課程が求める人材像は次のとおりとする。

- ① 複合の視点から自立した研究に取り組み、表現手法の拡張や現代芸術の理論化を探求していく人
- ② モノ・コトの成り立ちを解析し、領域を横断する高い観点から、自らの創造性や思考の転換に基づく成果によって、芸術領域及び社会に新たな価値を提示する人
- ③ 現代芸術の研究を通じて、複合の視点からの理論化に取り組み、「複合芸術」の体系化を担っていく意欲のある人

■教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

本課程の教育目的達成に向けた基本的な教育課程編成等の考え方を、以下にカリキュラムポリシーとして示す。

- ① モノ・コトの複合性を要素単位で紐解く自立した研究を通じて、自らの分析力と解析力で現代芸術のみならず社会的事象の本質を捉える力を養う。
- ② 表現と理論双方からの研究を通じて、複合の視点に基づく発想の転換や理論の応用を新たな表現や課題解決策につなげる力を養うとともに、表現と理論が相互に裏付けされた研究成果を導く。
- ③ 複合の視点からの研究を通じた表現や理論の成果を社会に広く発信する力と、実社会に適用させ人々を巻き込む求心力を養う。

■学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本課程の修了に際しては、以下の能力を備えることを基準とする。

- ① 複合の視点からモノ・コトを要素単位で分析、解析し、現代芸術に限らず、社会的な課題等に関しても事象の本質を捉える能力
- ② 表現と理論の双方から多面的にモノ・コトを捉えながら、発想の転換や理論の応用をもとに、現代芸術及び社会に新しい視点を提示できる能力
- ③ 複合の視点からの学際的な研究に取り組み、その成果を社会に発信・適用していくことで、人々を巻き込みながら現代芸術や地域を牽引していく能力

■研究科名及び学位

研究科名：複合芸術研究科[Graduate School of Transdisciplinary Arts]

専攻名：複合芸術専攻[Course of Transdisciplinary Arts]

学位：博士（美術）[Doctor of Art]

■研究指導教員一覧

| 専 門 | 指 導 教 員 |
|-------------------|-------------------|
| ソーシャルデザイン | 尾 登 誠 一 教授 |
| 比較文化学／文化史 | 白 杉 悦 雄 教授 |
| ビジュアルアート | 小 田 英 之 教授 (研究科長) |
| アートプロジェクト | 藤 浩 志 教授 |
| プロジェクト型アート | 岩 井 成 昭 教授 |
| プロダクトデザイン | 今 中 隆 介 教授 |
| アーバン・スタディーズ | 岸 健 太 教授 |
| 情報科学 | 飯 倉 宏 治 教授 |
| 芸術人類学 | 石 倉 敏 明 准教授 |
| 映像メディア | 萩 原 健 一 准教授 |
| 哲学／文化人類学 | 唐 澤 太 輔 准教授 |
| アートマネジメント／キュレーション | 服 部 浩 之 准教授 |

秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科（博士課程）学生募集要項

1 募集人員

複合芸術研究科複合芸術専攻 2名

2 標準修業年限

3年

3 出願資格

【一般選抜】

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者及び2021年3月31日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2021年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2021年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2021年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2021年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により認めた2021年3月31日までに24歳に達する者

※出願資格(1)～(6)に該当しない者で、出願資格(7)により出願を希望する者は、出願資格認定審査の手続きを要するため、必ず事前に学生課に申し出て、指示を受けたうえで、2020年9月7日(月)までに必要書類等を提出してください。

4 出願書類等（必要書類の所定様式は全て本学ホームページからダウンロード出来ます。）

| | 出 願 書 類 | 出 願 書 類 作 成 上 の 注 意 |
|-----|----------------------|--|
| (1) | 入学志願票・受験票・研究計画書 | <ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の用紙を使用し、必要事項をみれなく黒のペンかボールペンで記入してください。 ・写真欄に3カ月以内に撮影した無帽上半身のを貼付してください。 ・研究計画書はパソコン等による印字を可とします。所定様式は、本学ホームページからダウンロードできます。（フォントサイズは9～11ポイントとしてください。） |
| (2) | 出願資格を証明する書類および成績証明書等 | <ul style="list-style-type: none"> ・出身大学等の修了（見込）証明書および成績証明書 |
| (3) | 入学検定料納付証明書 | <ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料 17,000 円を本学所定の入学検定料振込用紙を使用して金融機関で振り込み後、入学検定料納付証明書（大学提出用）を入学志願票の所定の貼付欄に貼付してください。 |
| (4) | 受験票等返送用ラベル | <ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の受験票等返送用ラベルに、受験票送付先の住所、郵便番号、氏名等を記入してください。 |
| (5) | 書類審査関係書類 | <ul style="list-style-type: none"> ・書類審査を行うための資料を以下の①～③から一つ選択して提出してください。また、作品・論文1点に対し別添の「一次選考（書類審査）提出作品・論文等添付用紙」を必ず貼付してください。 ① ポートフォリオ 過去5年以内に制作した作品の写真、資料等を3～5点までまとめたもの。ポートフォリオの大きさはA4版、またはA3版とし、各作品に関する解説文を付すこと。なお、実作品はポートフォリオとして認めない。 ※返却を希望する場合は、(4)のラベルとは別に、ポートフォリオが入る返却用封筒等に志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、必要額の切手を貼り付けして提出書類に同封すること。 ② 論文（修了済） 過去3年以内に執筆したもの。修士課程以上の修了論文、または同等の論文。部数は2部で2,000字程度の要旨を添付すること。 ※外国人出願者が英語の論文を提出する場合は、2,000字程度の日本語の要旨をつけて提出すること。 ③ 論文（2021年3月修了見込み） 研究分野に関する論文、もしくは修士課程以上の修了論文（草稿可）。部数は2部で2,000字程度の要旨を添付すること。 ※外国人出願者が英語の論文を提出する場合は、2,000字程度の日本語の要旨をつけて提出すること。 |
| (6) | 外国人出願者が提出するもの | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人出願者は以下の①～③のうち、該当するもの全てを提出してください。 ① 在留カードまたは外国人登録証明書の写し 現在、日本に在留している者は、在留カードまたは外国人登録証明書の写しを提出すること。 ② 国費留学生証明書 他大学に在籍している国費外国人留学生は、その大学が発行した国費留学生証明書を提出すること。 ③ 日本語能力試験の成績通知書 (※N2以上と同等程度が望ましい) 日本語能力試験の成績通知書（コピー可）を提出すること。提出できない場合は、日本語学校の成績証明書、あるいは日本語を専門とする語学教員による日本語能力の証明書（様式は任意）を提出すること。なお、日本の大学を卒業、卒業見込の者は除く。 |

5 出願受付期間

2020年10月7日（水）～10月13日（火）（必着）

※ 郵送による出願は、出願締切日必着とします。（書留速達郵便で郵送してください。）

直接持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。（土曜、日曜を除く）

6 出願提出方法

出願書類一式を本学大学院ホームページ (URL:http://www.akibi.ac.jp/daigakuin/) からダウンロードし、必要事項を記入の上、任意の封筒の表紙に【大学院出願書類在中】と朱書きし、書類審査関係書類(ポートフォリオまたは論文)と一緒に書留速達郵便で郵送するか、直接持参してください。

送り先 〒010-1632 秋田市新屋大川町12番3号
秋田公立美術大学事務局学生課
TEL : 018-888-8105

7 一次選考(書類審査)結果の通知

上記の出願手続を行った者のうち、本学大学院が、受験資格を有すると認定し、一次選考(書類審査)において二次選考へ進むことを認めた者には二次選考受験票を送付します。また、一次選考において不合格となった者には、その旨を通知します。

8 試験日程及び試験内容

| | 出願期間及び試験日時 | | 試験内容および試験方法 |
|------|-------------------------------------|-------------|---|
| 一次選考 | 出願期間 2020年10月7日(水) ～10月13日(火) | 書類審査 | ①ポートフォリオ 過去5年以内に制作した作品の写真、資料等を3～5点までまとめたもの。 ※A4版、またはA3版とする、解説文を付すこと ②論文(修了済) 過去3年以内に執筆した修士課程以上の修了論文、または、同等の論文。※2,000字程度の要旨を添付 ③論文(2021年3月修了見込み) 研究分野に関する論文、もしくは修士課程以上の修了論文(草稿可)。※2,000字程度の要旨を添付 ※作品・論文1点に対し別添の「一次選考(書類審査)提出作品・論文等添付用紙」を貼付してください。 |
| 二次選考 | 2020年11月7日(土) | 10:00～12:00 | 記述試験 学際的なテーマに基づく論述試験 |
| | | 13:00～18:00 | 面接(口頭試問含む) 冒頭に自らの作品や研究計画に触れながら5分程度のプレゼンテーションを行う。 その後、15分程度の質疑応答を行う。 |

※面接について

プレゼンテーションで使用するパソコン、タブレット等は持参してください。

なお、USBメモリでデータを持参し、本学で用意する機器を使用することも許可しますが、接続やデータの読み込み等でプレゼンテーションに支障を来した場合は本人の責任とします。

※面接会場に常備しているもの

①パーソナルコンピュータ

- ・Windows (OS : Windows10、Microsoft Office2013)
- ・Mac (OS : mac OS Sierra、Keynote)

②プロジェクタ (解像度は、WXGA(1280×768pixel)程度)

③スピーカ (PC用小型スピーカ)

④コンピュータとプロジェクタを接続するケーブル（HDMI ケーブル）持参したコンピュータから HDMI ケーブルに接続する変換コネクタは、各自で用意してください。

⑤コンピュータとスピーカを接続するケーブル（3.5mm ステレオミニジャックケーブル）

※プレゼンテーションで使用するコンピュータ等とプロジェクタとの接続テスト（任意）

①受験者控え室にプレゼンテーション会場と同じ接続環境を用意します。希望者は持参したコンピュータ等を接続し、投影等の確認をすることができます。

②ネットワーク接続環境は用意していないので、各自準備するかローカルで動作するようにデータを作成してください。

③プレゼンテーションでの機器の接続や設定は、各自で行ってください。

9 選抜方法

論述試験、面接（口頭試問含む）および研究計画書、成績証明書等を総合して判定します。

10 試験場所

秋田公立美術大学（秋田市新屋大川町12番3号）

11 合格発表

2020年11月17日（火）午前10時（予定）

本学合格発表掲示板（附属図書館入口前）に掲示し、本学ホームページに掲載します。また、合格者には文書で通知します。電話による問合せには一切応じません。

12 入学手続期間

2020年11月24日（火）～11月27日（金）（必着）

※ 直接持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。（土曜、日曜を除く）

※ 入学手続時に提出された書類および納入された入学金は返還しません。

13 入学金・授業料

| | | | |
|-----------|---------|-----------|--------------|
| (1) 入 学 金 | 秋田市内居住者 | 282,000 円 | } (入学手続時に納入) |
| | 上記以外の者 | 423,000 円 | |

(2) 授 業 料 年額 535,800 円（前期、後期に分割し、5月および10月の末日に納入）

※「秋田市内居住者」とは、本学入学の1年前から引き続き秋田市内に住所を有する者をいう（その配偶者または1親等の親族がこれに該当する者を含む）

※本学大学院修士課程を修了し、引き続き次年度に博士課程へ進学する者については、入学金は不要とします。

14 その他の納入金（予定）

(1) 傷害保険等（3年分） 3,620 円

(2) 学生会費（3年分） 3,000 円

※ (2)の入会は任意です。

※ 所要見込額は上記のとおりですが、改定される場合があります。

15 試験成績の照会

受験者本人からの照会に対してのみ回答します。希望者は、下記の期間に本学受験票（コピー不可）と本人確認ができるもの（免許証、健康保険証、パスポートなど）を郵送または持参してください。（一次選考不合格者は受験票不要）

郵送の場合は、本学受験票（コピー不可）と本人確認ができるもの（同上）のコピー、長形3号の返信用封筒（受験者本人の郵便番号、住所、氏名を記載し、84円分の切手を貼付したもの）を同封のうえ、照会してください。

※請求期間：2021年5月6日（木）から5月31日（月）まで（土曜、日曜を除く）

16 個人情報の取扱い

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報については、「公立大学法人秋田公立美術大学個人情報保護規程」に基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報については、①入学選抜（出願処理および選抜実施）、②合格発表、③入学手続き業務を行うために利用します。
- (2) 入学選抜の試験成績は、今後の入学選抜方法の検討資料作成のために利用します。
- (3) 入学者の個人情報については、①教務関係業務（学籍、修学指導等）、②学生支援関係業務（奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

17 受験上の注意事項

- (1) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。やむを得ない事情により遅刻した場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- (2) 試験室に入室してから試験終了までは、退室できません。
- (3) 試験時間中に休憩時間がある場合、休憩時間であっても試験会場外に出ることができませんので、あらかじめ昼食を持参してください。
- (4) 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、不正防止のため必ず電源を切り、かばん等にしまってください。係員の指示があった後に電子機器類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っている、不正行為となることがあります。（休憩時間を含む）
- (5) 配付された問題冊子は試験室から持ち出すことはできません。
- (6) 受験票が試験日7日前になっても到着しない場合は、本学事務局に問い合わせてください。
- (7) 受験票は入学手続きの際に必要となりますので、試験後も保管しておいてください。

18 入学前の研究指導相談の実施について

本課程においては、現代芸術を「複合の視点」から理論化・体系化を試みる研究を行うことで、現代芸術領域の拡張と持続可能な社会の構築に寄与することを目的としています。それに伴い、入学対象としている者については、本学修士課程修了者に限らず、現代芸術の現場で活動する作家や社会人等の美術関係者も対象としており、多種多様な分野、領域からの研究テーマの設定を想定しています。

これらの者に対し、入学希望者が本課程において実践しようとする研究計画を事前に相談の上、本課程における教育・研究目標に則した研究内容であるかを事前に志望する研究指導教員から研究計画や修学に関する相談ができる機会を提供するため、出願前に「入学前の研究指導相談」の受付を

実施します。

本学大学院ホームページ (URL: <http://www.akibi.ac.jp/daigakuin/>) の【お問い合わせ】から必要事項および相談内容を記入の上、メールにてご連絡ください。相談内容を確認の上、お返事いたします。

19 履修課程および修了要件

教育課程の概要

| 科目区分 | 授業科目 | 履修単位 | | |
|--|-----------|------|----|----|
| | | 必修 | 選択 | 合計 |
| 研究基盤科目 | 複合芸術研究法 | 1 | | 17 |
| 研究展開科目 | 複合芸術表現研究Ⅰ | 2 | | |
| | 複合芸術理論研究Ⅰ | 2 | | |
| | 複合芸術表現研究Ⅱ | 2 | | |
| | 複合芸術理論研究Ⅱ | 2 | | |
| 研究指導科目 | 複合芸術特別研究Ⅰ | 2 | | |
| | 複合芸術特別研究Ⅱ | 2 | | |
| | 複合芸術特別研究Ⅲ | 4 | | |
| 履修方法および修了要件 | | | | |
| 研究基盤科目1単位、研究展開科目8単位、研究指導科目を8単位、合計17単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、「博士論文」または「博士論文及び研究作品」の審査及び最終試験に合格すること。 | | | | |

20 授業科目および担当教員

| 授業科目 | 科目概要 | 担当教員 |
|-------------------|---|----------------------------------|
| 複合芸術研究法 1単位・必修 | 本科目は、博士課程初期段階における研究の基本的なあり方に対する概論であり、複合芸術に対する深い洞察と新たな知見を獲得するための教育課程やスケジュールの確認を基点に、この後履修していく「複合芸術表現研究Ⅰ」と「複合芸術理論研究Ⅰ」に先立ち、「複合の視点」からの研究活動を概観する。その上で、自身の研究テーマとプロセスを重ね合わせる演習を通じて、グローバルに芸術表現活動を展開するために必要な技術力や表現力を身につけ、かつ自らの創造実践がもつ独自性を、歴史的・社会的文脈において言語化（理論化）し発信する博士像を具体的に想起する。 | 尾登 誠一 教授 岩井 成昭 教授 志邨 匠子 教授 |

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| <p>複合芸術表現研究 I 2単位・必修</p> | <p>本科目では、学生各自の研究テーマに立脚する芸術表現とその方法論構築のための指導を行う。ここでは「複合」の試みを通じた実践による作品制作を芸術表現と定義したうえで、多様な表現を客観的に捉え分析することを前提に、各履修者の研究テーマを踏まえて、それぞれ2名の担当教員を配置し、テーマ設定・考案から作品制作としてまとめることを目的に指導を行う。</p> | <p>尾登 誠一 教授 小田 英之 教授 藤 浩志 教授 岩井 成昭 教授 今中 隆介 教授 岸 健太 教授 飯倉 宏治 教授 萩原 健一 准教授 服部 浩之 准教授</p> |
| <p>複合芸術理論研究 I 2単位・必修</p> | <p>本科目では、論文を執筆する上で必要となる理論構築のための研究方法についての指導を行う。各自の研究テーマが、表現を主体とするのか、理論を主体とするのか、によって最終的な成果のあり方は異なるが、理論的に思考し客観的に文章化することは、どのような研究テーマであろうと必要である。したがって、(1)研究テーマと論文との関連づけ、(2)各自のテーマに基づく理論的な研究方法についての指導、(3)論文の構成についての指導、といった流れを通じ、複合的視点を重視しつつ、論文執筆に向けての基盤を作ることを目標とする。</p> | <p>白杉 悦雄 教授 志邨 匠子 教授 岸 健太 教授 飯倉 宏治 教授 石倉 敏明 准教授 服部 浩之 准教授 唐澤 太輔 准教授</p> |
| <p>複合芸術表現研究 II 2単位・必修</p> | <p>本科目では、「複合芸術表現研究 I」を踏まえ、引き続き、作品を制作する上で必要となる理論構築のための研究方法、文章表現に係る実践的な指導を行う。(1) 各自の芸術表現における社会的・芸術的コンテキストを明らかにする、関連文献の拡充(2) 表現手法の再構築(3) 実践的な制作指導、上記のような流れを通じ、複合的視点を重視しつつ、博士課程の審査作品制作に向け、複合的視点・手法による独自性の高い芸術表現の実現をすることを目標とする。</p> | <p>尾登 誠一 教授 小田 英之 教授 藤 浩志 教授 岩井 成昭 教授 今中 隆介 教授 岸 健太 教授 飯倉 宏治 教授 萩原 健一 准教授 服部 浩之 准教授</p> |
| <p>複合芸術理論研究 II 2単位・必修</p> | <p>本科目では、「複合芸術理論研究 I」を踏まえ、引き続き、論文を執筆する上で必要となる理論構築のための研究方法、文章表現に係る実践的な指導を行う。(1)論文執筆に必要な関連文献の拡充、(2)方法論の再構築、(3)実践的な論文指導、といった流れを通じ、複合的視点を重視しつつ、博士論文執筆に向け、明快で、理論的・客観的な文章表現を実践することを目標とする。</p> | <p>白杉 悦雄 教授 志邨 匠子 教授 岸 健太 教授 飯倉 宏治 教授 石倉 敏明 准教授 服部 浩之 准教授 唐澤 太輔 准教授</p> |

| | | |
|-----------------------------|---|---|
| <p>複合芸術特別研究Ⅰ 2単位・必修</p> | <p>本科目では、博士論文・博士制作に関する指導を面談形式で行いながら、(1) 研究テーマの設定・研究計画立案、(2) 論文研究・年次制作の実施、および(3) 報告書の提出という流れを通じて、博士論文・博士制作に繋げる研究テーマの設定と研究計画の立案、さらには、そのテーマに基づく研究・制作の中に新たな試みを加え、複合的視点に立脚した一定の成果を得るとともに、研究の方向を定めたいうえで、本格的な研究に着手することを目標とする。</p> | <p>尾登 誠一 教授 白杉 悦雄 教授 小田 英之 教授 藤 浩志 教授 岩井 成昭 教授 今中 隆介 教授 志邨 匠子 教授 岸 健太 教授 飯倉 宏治 教授 石倉 敏明 准教授 萩原 健一 准教授 服部 浩之 准教授 唐澤 太輔 准教授</p> |
| <p>複合芸術特別研究Ⅱ 2単位・必修</p> | <p>本科目では、博士論文・博士制作に関する指導を面談形式で行いながら、研究指導を担当する主指導教員と副指導教員による複数体制で学生の研究・制作の指導に当たる。</p> <p>「複合芸術特別研究Ⅰ」の中で定められた研究テーマや研究計画に基づき実施した年次制作・研究、および提出された報告書の内容を踏まえて、本授業では、引き続き研究計画に基づき、後期に開催する博士論文等予備審査会、年度末に開催する第1回公開発表会での研究成果のプレゼンテーションに向けて、博士論文・博士制作の研究を進める。そして、3年次に提出する博士論文・博士制作における高度な提案への結実を目指し、自らの研究・制作をより一層発展・深化させることを目標とする。</p> | <p>尾登 誠一 教授 白杉 悦雄 教授 小田 英之 教授 藤 浩志 教授 岩井 成昭 教授 今中 隆介 教授 志邨 匠子 教授 岸 健太 教授 飯倉 宏治 教授 石倉 敏明 准教授 萩原 健一 准教授 服部 浩之 准教授 唐澤 太輔 准教授</p> |
| <p>複合芸術特別研究Ⅲ 4単位・必修</p> | <p>本科目では、博士論文・博士制作に関する指導を面談形式で行いながら、研究指導を担当する主指導教員と副指導教員による複数体制で学生の研究・制作の指導に当たる。</p> <p>「複合芸術特別研究Ⅰ・Ⅱ」において実施した年次制作・研究、提出された報告書、博士論文等予備審査、第1回公開発表会の内容、さらには、同時並行的に行ってきた「複合芸術表現研究Ⅰ・Ⅱ」および「複合芸術理論研究Ⅰ・Ⅱ」での成果を踏まえて、後期の博士論文等審査会、年度末の第2回公開発表会に向けて、博士論文・博士制作の研究を進める。そして、自らの研究・制作を複合的視点から既存の領域や価値観にとらわれない学術的・社会的に大きな価値を持つ博士論文及び研究作品という研究成果として結実させることを目標とする。</p> | <p>尾登 誠一 教授 白杉 悦雄 教授 小田 英之 教授 藤 浩志 教授 岩井 成昭 教授 今中 隆介 教授 志邨 匠子 教授 岸 健太 教授 飯倉 宏治 教授 石倉 敏明 准教授 萩原 健一 准教授 服部 浩之 准教授 唐澤 太輔 准教授</p> |

21 交通アクセス・キャンパスレイアウト

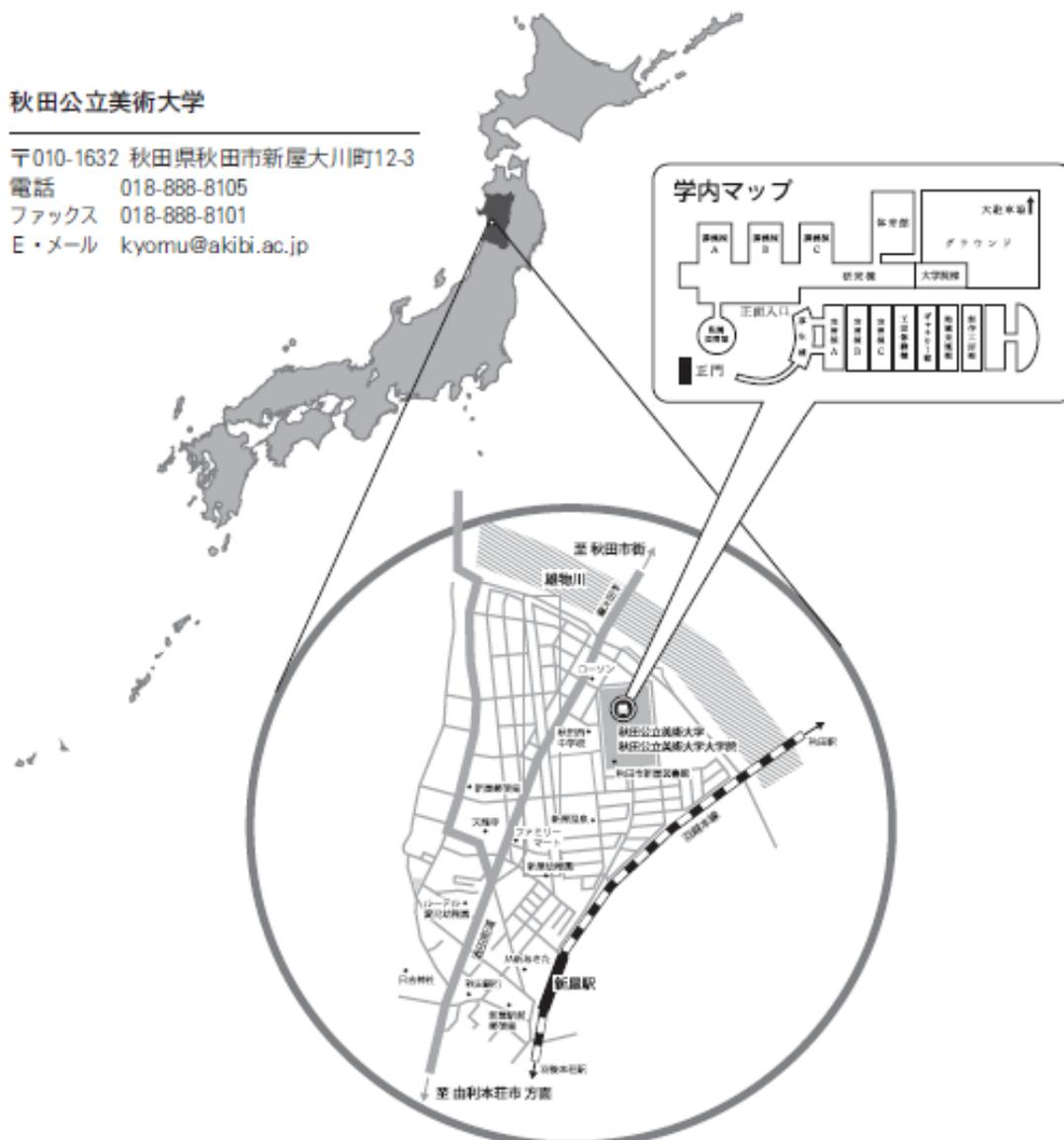
秋田公立美術大学

〒010-1632 秋田県秋田市新屋大川町12-3

電話 018-888-8105

ファックス 018-888-8101

E・メール kyomu@akibi.ac.jp



大学までの交通機関

- ・ 鉄道 JR秋田駅下車 秋田駅西口から秋田中央交通バス乗り換え
JR秋田駅から羽越本線「新屋駅」下車 徒歩15分
- ・ バス 秋田駅西口バスターミナル ⑦番のりば
秋田中央交通バス 新屋線「美術大学前」下車 (乗車約25分) 徒歩1分
- ・ 航空機 秋田空港から リムジンバス 秋田駅西口下車 (乗車約45分)
秋田駅西口から 秋田中央交通バス乗り換え
- ・ 自動車 秋田自動車道 秋田南ICから約15分